

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：試験研究調整担当
 内線：4035

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B2	農林総合研究センター施設整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農林総合研究センター施設整備事業費		
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
<p>1 事業の概要</p> <p>農林総合研究センターの研究機能の強化のため、水田農業研究所、園芸研究所を農林総合研究センター本所へ集約し、これに伴い本所内で不足する、実験室、温室等を整備する。</p> <p>事務費の節減による減額（留保分減額）</p> <p>(1) 農林総合研究センター体制整備事業 577千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 農林総合研究センター体制整備事業 443,748千円 農林総合研究センター体制整備に必要な施設、設備整備に係る事業を実施 農林総合研究センターの集約に当たり 本所内の既存の施設規模では不足する、実験棟、温室、作業・資材庫など最小限の施設、ほ場の整備 既存施設の改修工事 試験研究用機器などの備品の移転費用など</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 農林総合研究センター体制整備事業 平成26年度(単年度) 443,748千円 基本設計・実施設計、本館改修などの建築工事、本館の実験器具移転 平成26年度、平成27年度(継続費分) 整地工や給水工などの土木工事、実験棟新設工事 567,435千円 平成27年度(単年度) 66,760千円 実験棟の実験器具移転等</p> <p>【総事業費 1,077,943千円】</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 集約することにより研究資源の集中が可能となり、研究環境の充実が図られる。 イ 研究体制を科目別から機能別に再構築することで、横断的な研究が可能となり機能強化が図られる。 ウ 平成27年度に隣接地に移転・開校する農業大学校と共に農業振興の拠点となる。さらに普及指導組織を含めることにより連携強化が図られる。 エ 集約により初期投資費用と維持管理費の縮減が図られる。</p> <p>(4) 補正概要 経費節減に伴う減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債(318,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	577	県債						577	443,171	
現計額	443,748	353,000						90,748		